

就業のお手伝いがわたしたちの仕事です

障害者就業・生活支援センター

障害者就業・生活支援センターは、障害者の職業生活における自立を図るために、就業とそれにとまなう日常生活・社会生活上の支援を必要とする障害者の相談に応じ、関係機関と連携して、障害者の就業支援を行う組織である。センターは、「障害者の雇用の促進等に関する法律等」に基づき国と都道府県が設置を進めており、現在、鹿児島県内の2か所を含め全国に約200か所が設置されている。障害の種類(身体障害・知的障害・精神障害)を問わず、障害者の就業および生活への支援を一体的に行っている。



かごしま障害者就業・生活支援センター

かごしま障害者就業・生活支援センターは平成15年10月に開所。当初は、活動の意図が周囲に浸透しておらず、手探り状態で関係機関・企業との人脈づくりからスタートした。

センターの佐々木憲一郎所長によれば、職員の働きぶりは献身的で、「やりがい」があつて「この仕事が好きです」と言えるような活気があるという。佐々木所長以下9名のスタッフで、就業を望む障害者の相談や家庭訪問等を行う一方、新たな職域の開拓のため、県内の事業所を訪問し「とにかく地域で活動する。部屋の中でやるんじゃない」と積極的に外に出ていく。職員にとつて、障害者の「働きたい」との意欲に応えて自立のお手伝いできたときが何より嬉しいという。望むことは障害者の就業先の拡大。また、障害者雇用を理解のある事業者を、世間的にもっと評価してもらいたいという。



かごしま障害者就業・生活支援センターのスタッフ

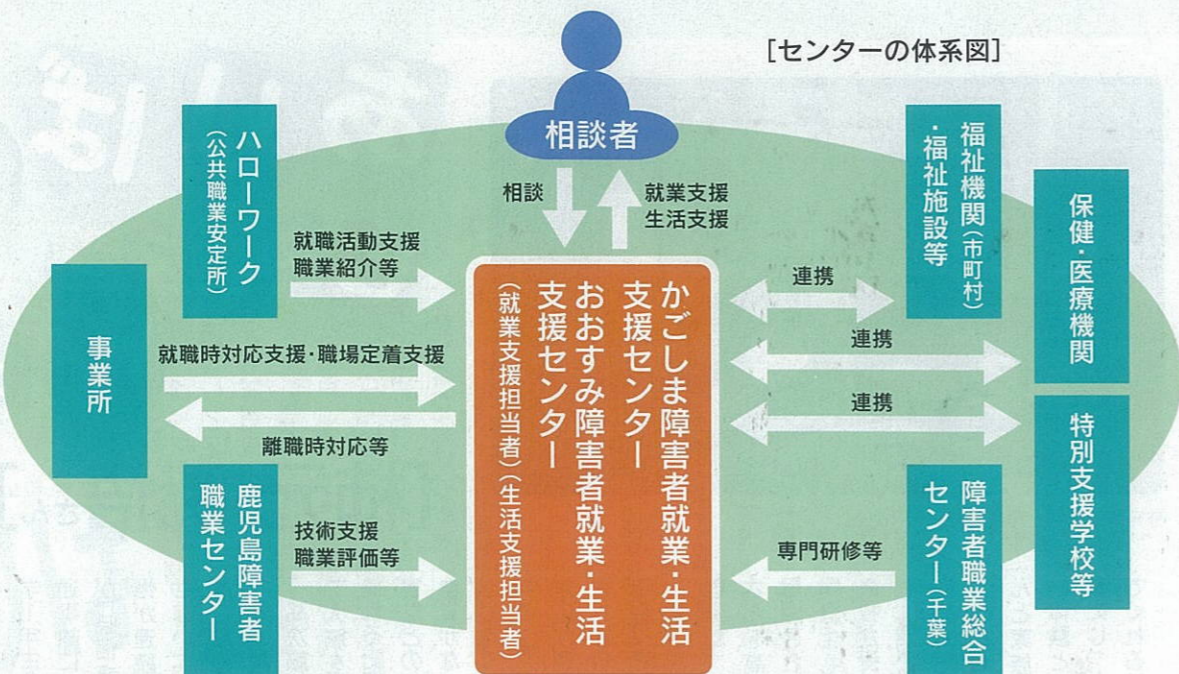
障害者就業・生活支援センターが行っている就業面での支援内容としては、職業相談から始まり、就職に向けた準備支援、職業準備訓練、職場実習のあっせん、就職活動の支援、職場定着に向けた支援。一方、事業所に対しては、障害者の特性を理解しての雇用管理についての助言。また、生活面での支援内容としては、生活習慣の形成・健康管理・金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言、住居、年金、余暇活動など地域生活、生活設計に関する助言など。これらについて、関係機関との連絡・調整を図りながらきめ細かな支援活動を行っている。単に「就職まで」ではなく「職場への定着」が目標なのだ。

センターでは、就職を希望する相談者に登録していただき、それぞれに合った就職先を探していく。平成19年度の実績は、相談件数は2658件、登録341人、就職42人。特に就職が難しい知的障害者・精神障害者の就業支援に力を入れ、29人の就職を達成した。

設立当初から在籍する支援員の吉村安史さんは、「ここ1、2年はハローワークをはじめ関係機関との連携もスムーズになり、障害者の就業支援により力を入れられる態勢づくりができてきたという。それでも「障害者の雇用はバリアフリーじゃないと進まない。建物のハード面であったり、心の問題であったり、会社の中での風土であったり、いろんな障害を取っ払わないと、障害者の雇用は進まないのでは」と話され、そのバリアを取り払うために、忙しく駆け回る毎日だ。

現在、かごしま障害者就業・生活支援センターで力を入れているのは、「企業による障害者雇用体験事業」という制度。事業者が障害者雇用による不安をもつているのも確かです。そこで「試験的に体験してみませんか」という事業を実施している。企業や事業者が試験的雇用実習を行う際の補助制度で、積極的な活用が期待されている。

[センターの体系図]



おおすみ障害者就業・生活支援センター

平成20年7月、おおすみ障害者就業・生活支援センターが鹿屋市社会福祉会館内に開所した。県内2か所目の障害者就業・生活支援センターで、運営を社会福祉法人天会上会に委託して、大隅地域における障害者の就業相談先の一つとして地域住民の積極的な利用が望まれている。障害者の相談業務を行ってきた「肝属地区障害者総合相談支援センター」(同会館内)や「曾於地区障害者相談センター」(志布志市役所志布志支所内)とも協力・連携して、就業及び生活支援を行っている。地域的には、大隅半島の鹿屋市、垂水

市、曾於市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町を担当。職員は就業支援相談員2名、生活支援相談員1名、元養護学校教員の嘱託職員2名。平成20年度は相談件数1500件、10人の就業を目標としている。

主任支援員の木村恵智子さんは「まずは障害者の方にも一般企業の方にもこのセンターがあるんだよということを知っていただき、おおいに活用して、地域ぐるみで使える施設に育ててほしい」という。7月から始めて改めて感じたことは、考えていた以上に就職を求めている障害者が多いこと、その就職が厳しいということ。「一般の方は「障害」というだけで、ちょっと引いてしまう。障害者の方でも、障害があるというだけで、自分たちはもう世間と関われないと思いがち。そういうお互いの気持ちのバリアを取り払えば、もっと働きやすくなると思います。」

おおすみ障害者就業・生活支援センターの特徴の一つは、肝属地区障害者総合相談支援センターと同じフロアにあり、密接な連携が図られていることである。これから、さらに他の関係機関とも連携を強めて、地域に根ざしたセンターをめざしていきたいと考えている。



おおすみ障害者就業・生活支援センター
 社会福祉法人 天会上会
 〒893-0006
 鹿児島県鹿屋市向江町29-2 鹿屋市社会福祉会館内
 TEL.0994-35-0811 FAX.0994-35-0812
 [E-mail]soudan-oshigoto@ninus.ocn.ne.jp
 ◎利用方法…相談は無料(相談受付時間は原則として平日の午前8時30分から午後5時まで)
 ※ 土・日曜日、祝日及び年末年始は休館



かごしま障害者就業・生活支援センター
 社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団
 〒899-2503 鹿児島県日置市伊集院町妙円寺1-1-1「ゆずの里」内
 TEL.099-272-5756 FAX.099-272-5797
 [E-mail]kssc@minos.ocn.ne.jp
 [URL]http://www3.ocn.ne.jp/~kssc/
 ◎利用方法…相談は無料(相談受付時間は原則として平日の午前8時30分から午後5時まで)
 ※ 土・日曜日、祝日及び年末年始は休館



障害者就業・生活支援センターでは、関係機関とのネットワークを構築し、障害者が安定した職業生活をおくれるように総合的にサポートする。



おおすみ障害者就業・生活支援センターのスタッフ

